

IVCMEP2022 説明会 Q&A

テーマリサーチの柔軟性について

UNZA 内での研究室訪問や大学内で活動している組織/団体へのインタビューや活動への参加、学生などを対象としたアンケートの実施など内容については幅広く想定しています。事前学習において計画書の作成及びアポ取りなどの準備を行います。すでにザンビア大学にて共同研究をおこなっている場合にはそちらを組み込むことも可能です。また、受け入れ先との合意の上、予定しているテーマリサーチ以外の日程をリサーチ活動に当てることも可能です（個別相談）。詳細は事務局（IVCMEP@vetmed.hokudai.ac.jp）までお問い合わせください。

函館キャンパスに所属していますが、参加可能ですか？

派遣に関して、移動が函館からになる点は支障ありません。また、事前／フォローアップ学習はオンライン対応予定です。オンライン参加にてご参加いただくことも可能です。

「オンライン参加」の授業はどのように行われますか？

本年度はザンビア大学からの授業提供はなく、北海道大学の教員が行う複数の研究院の授業をオンデマンド配信し8-10月の間に視聴いただきます。ただし、この期間中に開催される授業に関しては対面での受講も可能です。オンライン参加の学生も、事前／事後学習ではザンビアからのJICAセミナーやザンビア大学とのオンライン交流ワークショップなどの活動は派遣学生と合同で行います。

提出書類のうち「教員からの評価書」はどのように記載すれば良いですか？

渡航希望者のみご提出ください

応募者がザンビアでの活動を強く希望しており、2週間の実習／課題探究活動を行うに足る能力と社会的態度を備えていることを保証していただく内容で十分です。指導教官が応募について承知していただいているのであれば、署名については電子署名でも肉筆のスキャンデータでも構いません。

来年度以降の派遣もありますか？

2023 年以降も本プログラムは継続予定です。なお 2025 年度からは OGGs プログラム (<https://oggs.oia.hokudai.ac.jp>) の一部として再編されたのち実施される予定です。

コロナ情勢による対応の仕方など

ザンビア及び日本において入国後に条件によらず自主隔離期間が設定される場合には派遣希望者もオンライン受講への切り替えとなる可能性があります。ワクチン接種証明書の提示により隔離措置の緩和が行われる場合もありますので、新型コロナウイルスワクチンの 3 回接種及び市長村発行の証明書取得を強く推奨しております。